

1

教員・授業・勉強・研究について

授業への興味

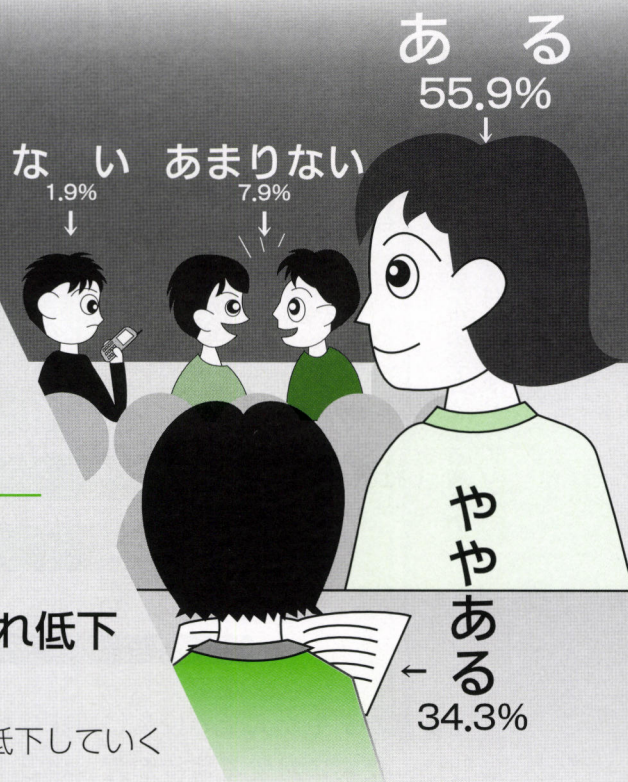
授業に興味を持つ学生は**9割**！

しかし、授業に満足している学生は**1/3**！

授業に興味が「ある」**55.9%**、「ややある」**34.3%**

授業にほぼ満足(60%以上満足)**30.1%**

Q 大学の授業に興味がありますか？



講義の選択基準

講義内容を重視して授業を選択

42.5%の学生が「講義内容」を基準に選択

出席率

出席率は学年が上がるにつれ低下

学部学生の出席率は**1年生**が最も高く、

2年生以降は低下していく

教員とのコミュニケーション

教員とのコミュニケーションが重要

教員と話をしている学生は**半数**

教員とのコミュニケーションは大学への満足度を高める

勉強と進路

大学での授業や研究・勉強は

進路先でも役に立つ

大学で得たものは進路先で役立つと「思う」**39.1%**

「やや思う」**38.0%**

留学への意識

留学への関心は高い！

しかし、頭を抱える「留学費用」

留学に「興味がない」**12.0%**

留学について不安、躊躇する要素「留学費用」**35.7%**



授業に興味を持つ学生は9割！ しかし、授業に満足している学生は1/3！

POINT

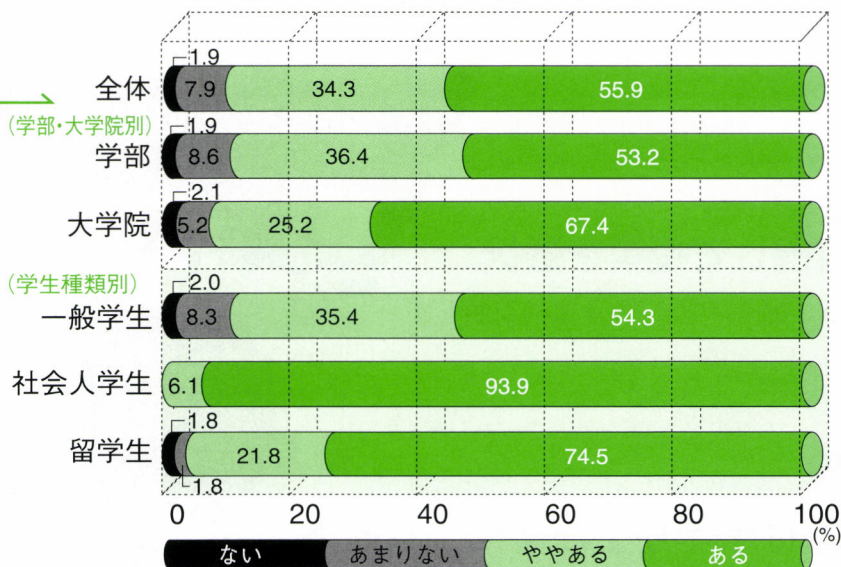
授業に興味が「ある」**55.9%**、「ややある」**34.3%**

授業にほぼ満足（60%以上満足）**30.1%**

大学の授業に興味がありますか？（学部・大学院別、学生種別別）



学部学生の学年による興味
増減は見られませんでした。



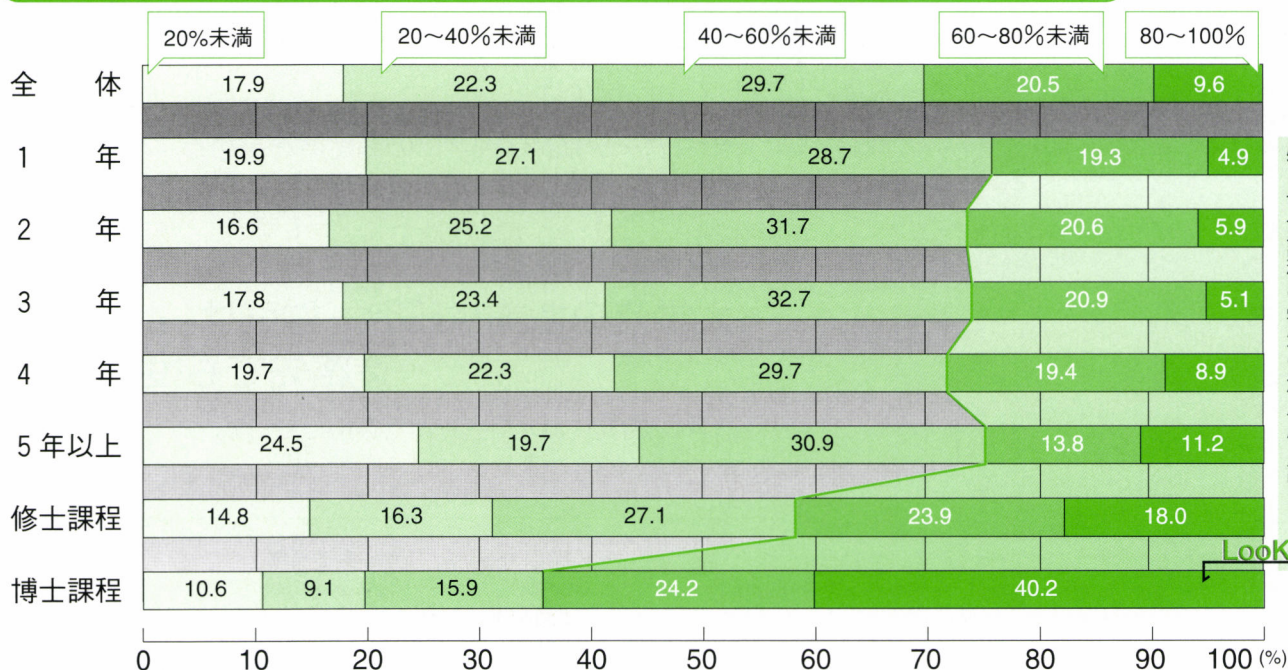
90.2%の学生が大学の授業に興味を持っています。また大学院学生は学部学生より高く、人数は少数ですが、社会人学生や、留学生は一般学生よりも興味の度合いがより強いと言えます。

しかし、授業に対する満足度は、残念ながらあまり高くはありません。ほぼ満足（60%以上満足）と答えている学生は全体の30.1%にすぎません。

大多数の学生が大学の授業に興味は持っていることは、授業に対する期待が大きいと受け取ることができます。これに対して満足度があまり高く

ないのは、学生の期待に対して十分に答えきれていないとも言えるでしょう。

今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？（学年別）



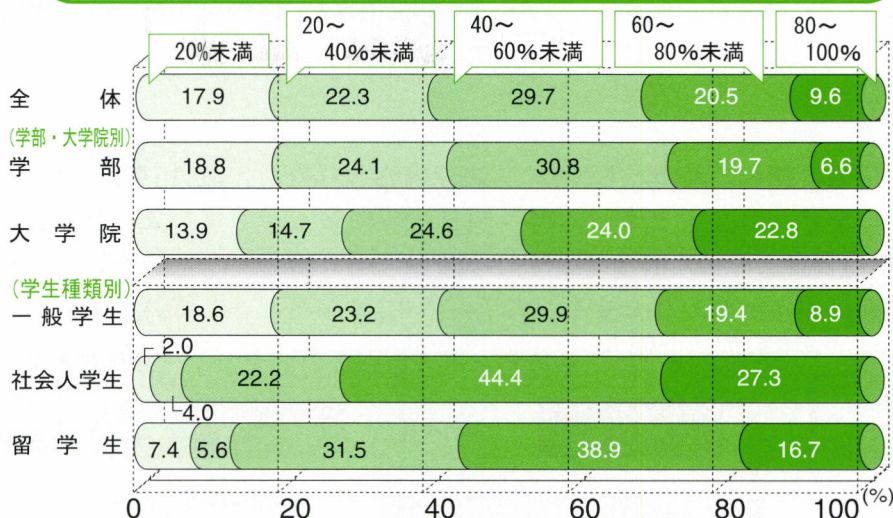
特に博士課程の学生の満足度は高い！

Look!!

学生の興味・期待と満足度のギャップをなくしていく必要があります。1つの鍵は授業への興味・関心の強さにあると言えるでしょう。大学院学生や社会人学生、留学生は学部学生よりも興味の度合いがより強いといいましたが、それは授業に興味があるの割合が学部学生よりも相当大きいからです。興味が「ややある」が漠然とした、具体性のあまりない興味であるのに対して、「ある」は明確な、具体性のある興味と言えるでしょう。授業への興味・関心が強い大学院学生、社会人学生、留学生については授業の満足度はより高い結果が得られて

います。講義内容やカリキュラムの工夫をとおして授業に対する強い興味を持たせ、満足度を高めていくことが本学の課題と言えるでしょう。

今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？
(学部・大学院別、学生種類別)



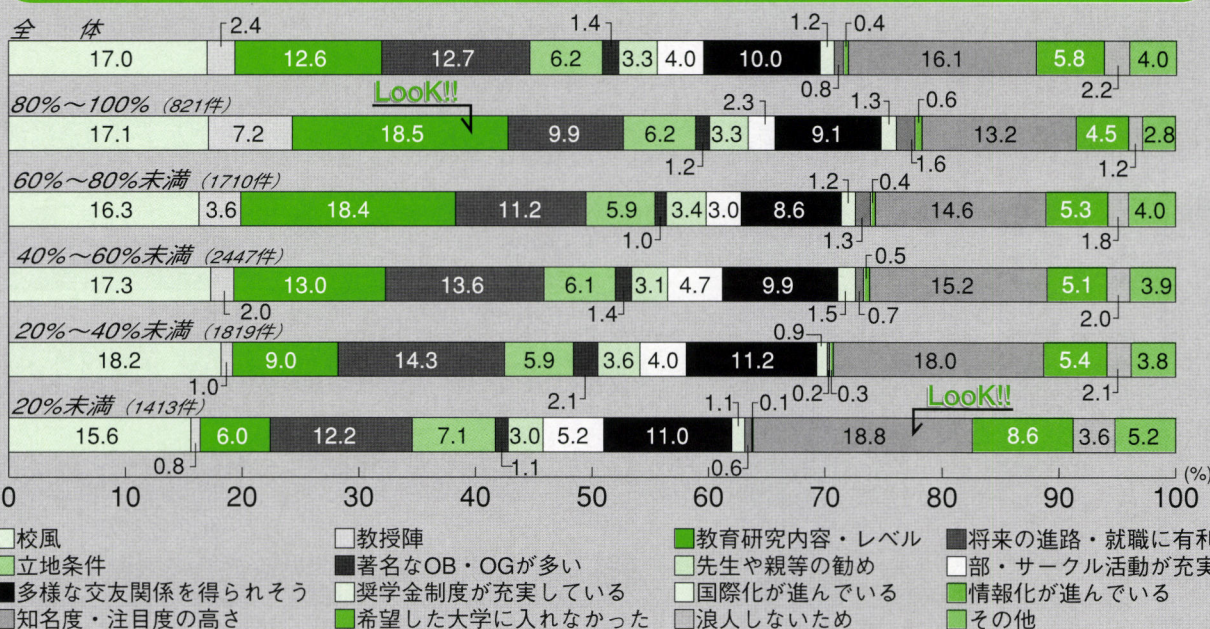
コラム

「授業に対する満足度」と、「早稲田大学を選んだ理由」とのクロス集計を見ると、はっきりとした相関があります。授業の満足度が高い学生ほど、本学の選択理由として「教育研究内容・レベル」を挙げ、満足度が低い学生は、「知名度・注目度の高さ」を多く挙げています。満足度が低くなるにつれ、「希望した大学に入れ

なかった」、「浪人しないため」という消極的な理由が増えることも注目に値します。別の集計では、当然ながら、授業に対する満足度が高いほど、大学生活が充実しているとの結果も出ました。入学後でもいいですから、しっかりした目的意識を持って大学へ進学し、充実した学生生活を送ってもらいたいものです。

早稲田大学を選んだ理由は何ですか？ [複数選択可]

／今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？





講義内容を重視して

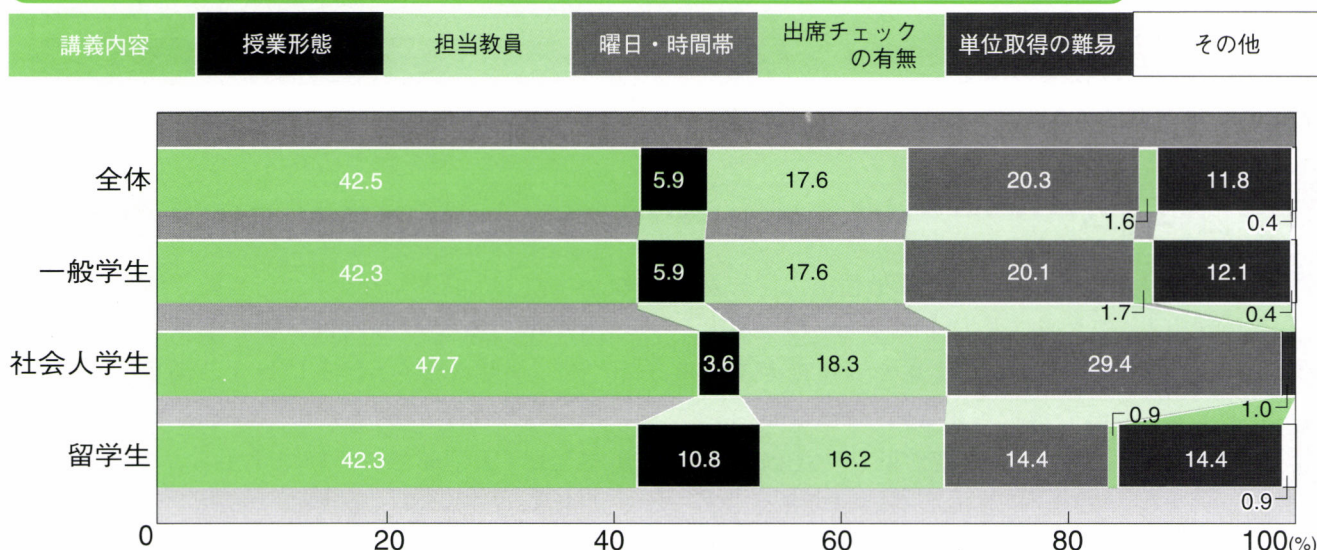
授業を選択

POINT 42.5%の学生が「講義内容」を基準に選択

授業の選択の基準としては、「講義内容」が第1位に挙げられています。次に「曜日・時間帯」、「担当教員」、「単位取得の難易」と続きます。この傾向は昨年と変わりません。大学院学生は「担当

教員」を選択する割合が学部学生よりも高くなっていました。また社会人学生は仕事との関連から、「曜日・時間帯」を一般学生よりもかなり重視しています。

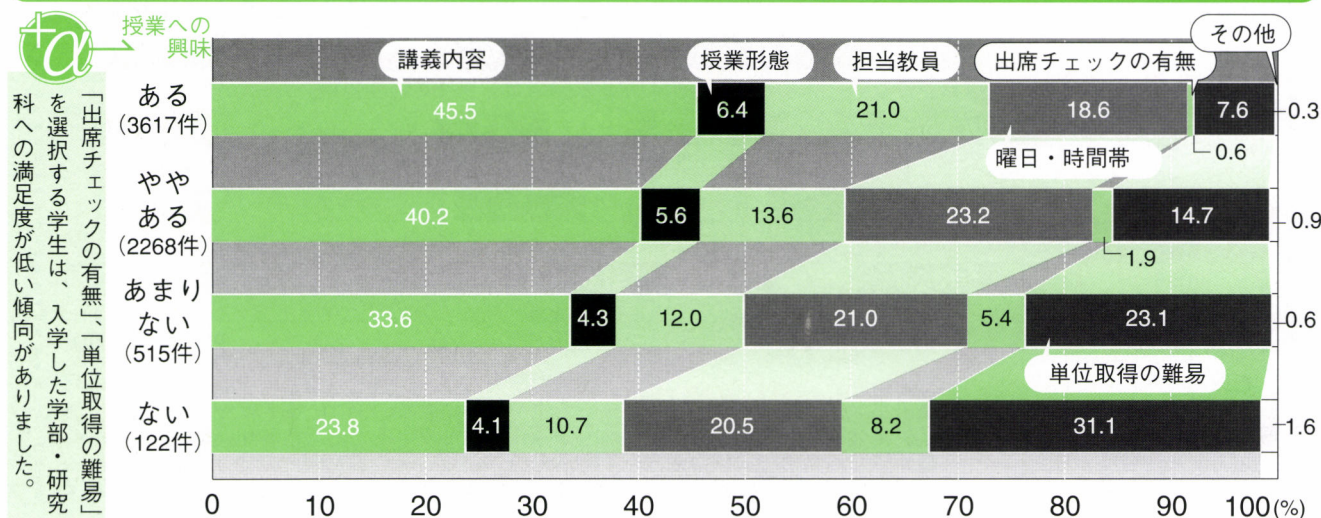
あなたが授業を選ぶ際に重要だと思う要素は何ですか？（学生種類別）[複数選択可]



授業への興味と授業の選択基準との関連については、授業に興味がある学生ほど「講義内容」を重視する傾向が見られます。授業に興味がない学生ほど「単位取得の難易」と「出席チェックの有

無」を気にかけているようですね。授業の満足度が低い人ほど「単位取得の難易」を重視する傾向も見られました。

あなたが授業を選ぶ際に重要だと思う要素は何ですか？／大学の授業に興味がありますか？[複数選択可]



授業への興味
「出席チェックの有無」、「単位取得の難易」を選択する学生は、入学した学部・研究科への満足度が低い傾向がありました。



出席率は 学年が上がるにつれ低下

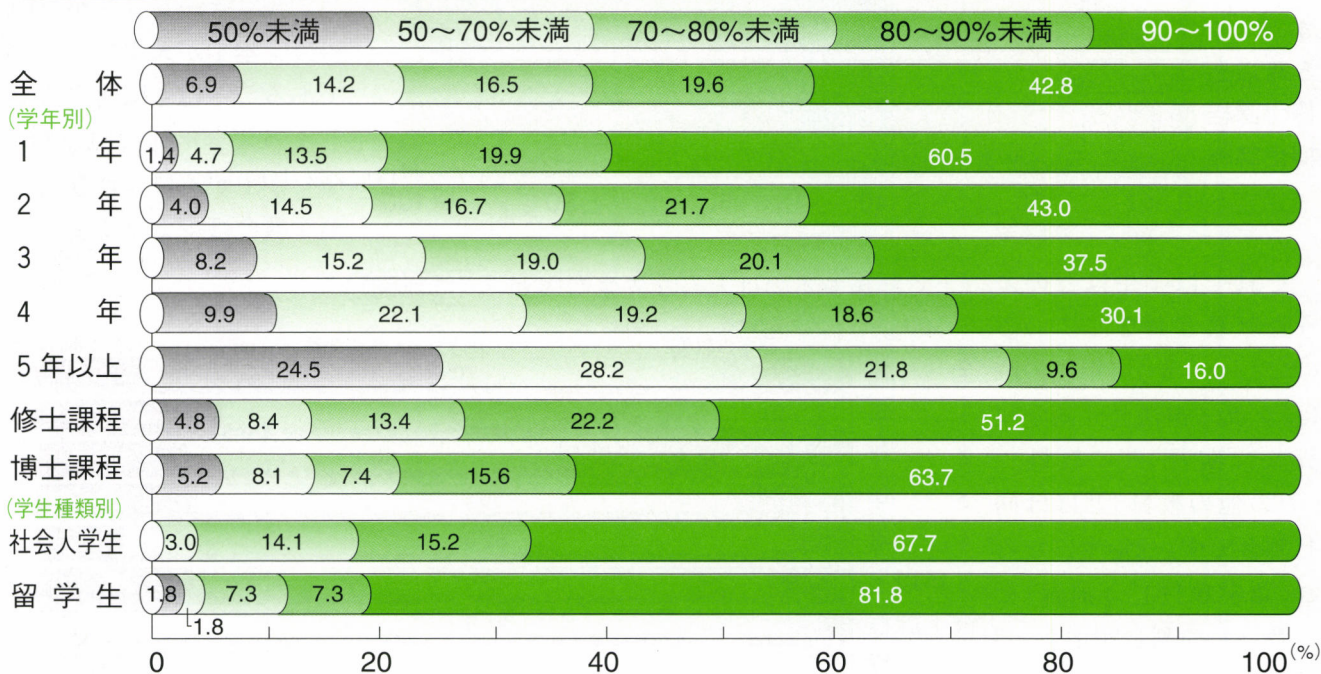
POINT

学部学生の出席率は**1年生**が最も高く、
2年生以降は低下していく

出席率が7割以上の学生が78.9%を占めていますので、出席率は高いと言えるでしょう。学年別に見ると、学年が上がるにつれ出席率は低下します。4年生の出席率が低いのは、調査時期の6月が

就職活動の時期と重なっていることも影響していると思われます。大学院学生、社会人学生、留学生は非常に高い出席率であり、ここでも授業への意欲の強さが見てとれます。

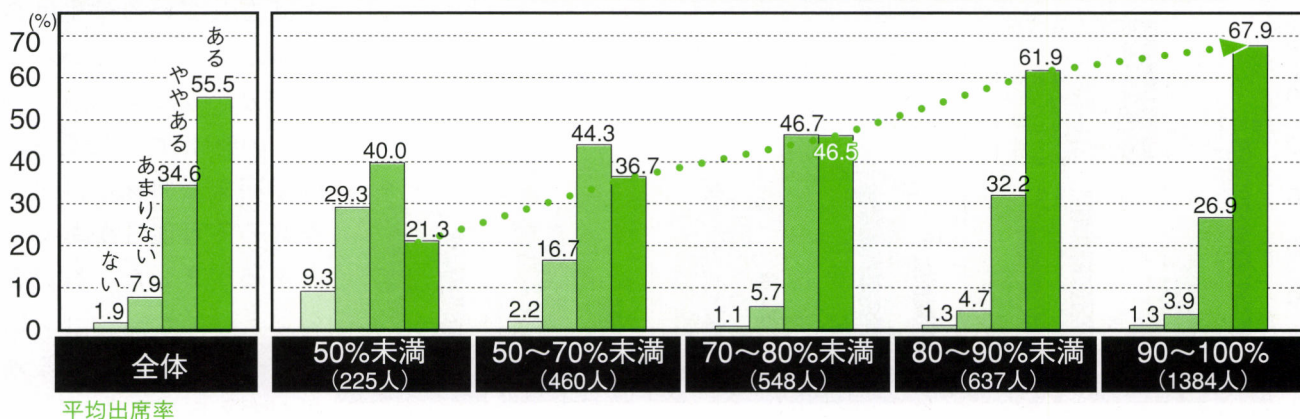
あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？（学年別、学生種類別）



高い出席率の学生は、授業への興味が強い傾向が見られます。別の集計では、授業選択の基準として「出席チェックの有無」を重視している学生は

実際の出席率は芳しくはありませんでした。つまり、出席チェックの厳しくない授業を選択し、実際にも出てこない学生ということになります。

大学の授業に興味がありますか？／あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？





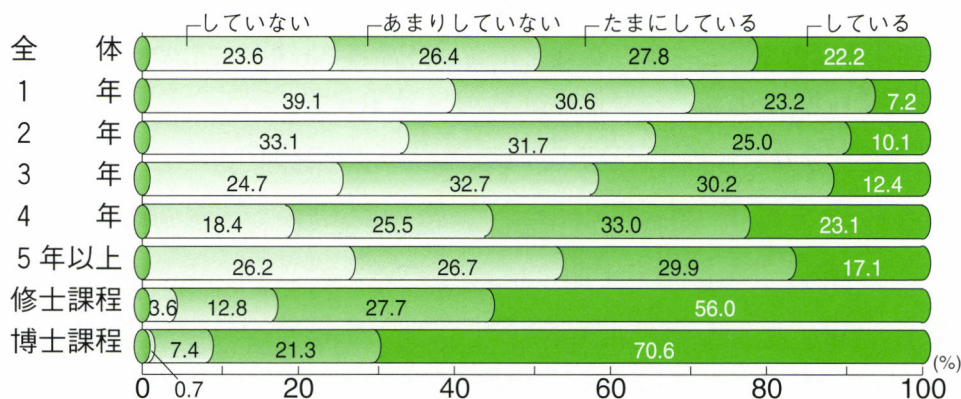
教員との コミュニケーションが重要

POINT

教員と話をしている学生は**半数**

教員とのコミュニケーションは大学への満足度を高める

短時間でも教員と話をしていますか？（学年別）

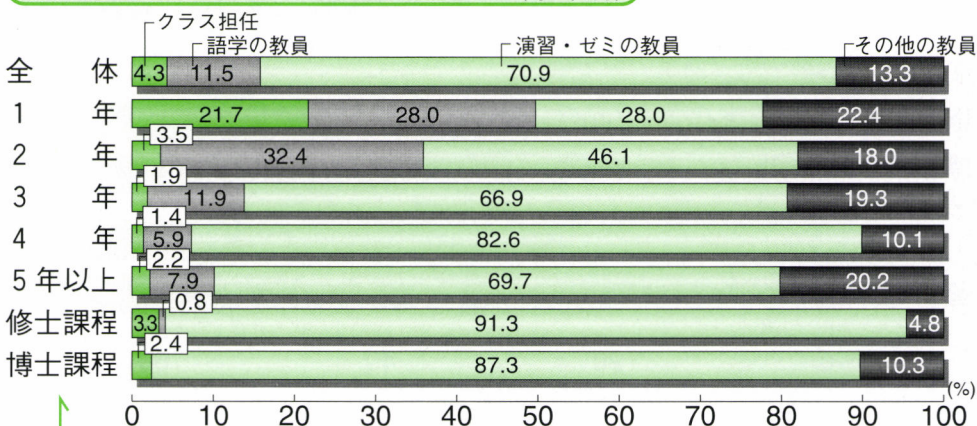


教員と話をしている（「している」と「たまにしている」）のは全学生のうち50.0%です。

半数の学生しか教員とのコミュニケーションがないのは、本学が大規模な大学であることにも関連するでしょう。学年別に見れば、学年が上がるにつれ教員と話す機会は多くなります。

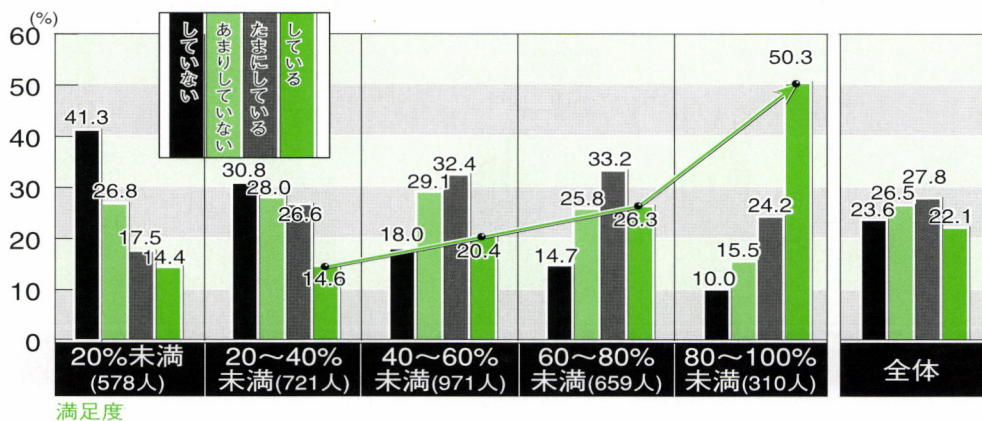
それでは学生はどのような教員と話をしているのでしょうか。1年生の時は「クラス担任」、「語学教員」、「演習・ゼミ教員」、「その他の教員」とほぼ同じ割合です。2年生になると「語学教員」、「演習・ゼミ教員」の割合が増え、3年生以降は「演習・ゼミ教員」がほとんどです。

よく話をするのはどんな先生ですか？（学年別）



教員と話をしていない半数の学生について、教員と話をしにくい理由は「用がない」（44.4%）が最も多く、次に「雰囲気が近寄りやすい」（20.8%）となっていました。

短時間でも教員と話をしていますか？／今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？



また、短時間でも教員と話をしている学生は高い満足度を示していることが分かります。「1. 授業への興味」で、授業への強く明確な興味が満足度を高める可能性があることを述べました。教員とのコミュニケーションは授業への興味を高める効果が考えられます。



大学での授業や研究・勉強は 進路先でも役に立つ

POINT

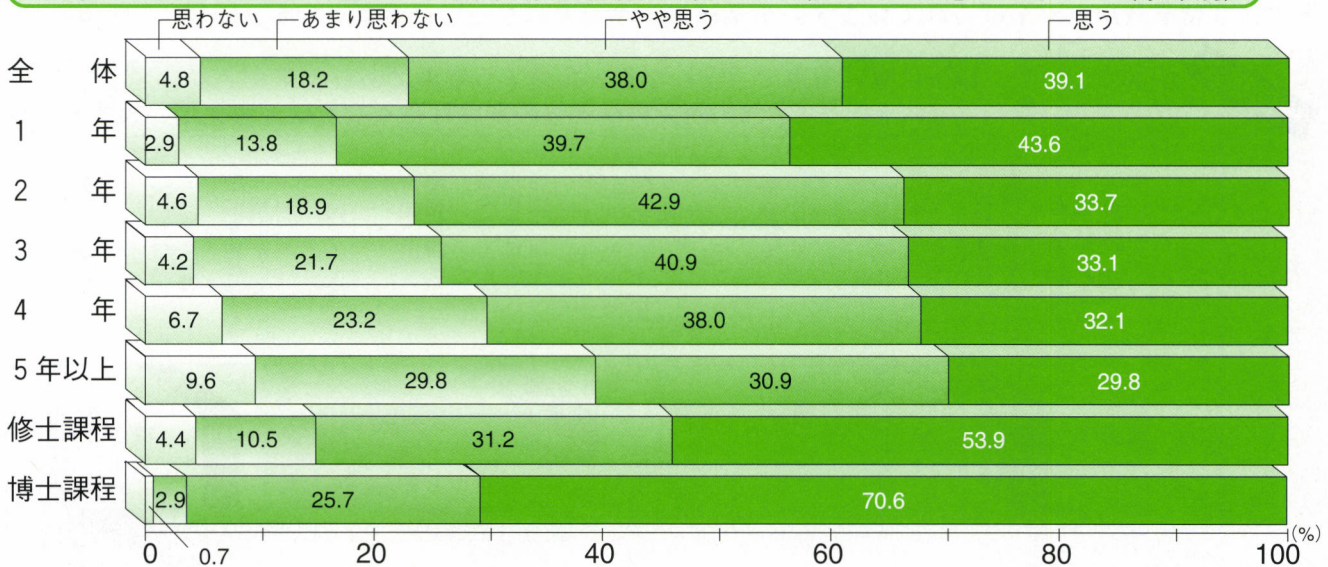
大学で得たものは進路先で役立つと「思う」 **39.1%**

「やや思う」 **38.0%**

大学の授業や研究・勉強が進路先でも多少とも役に立つと思う学生は77.1%に上ります。ですが、学部学生では、学年が上がるにつれ進路先で役に

立つと思う割合は低下します。一方、大学院学生では、非常に高い割合が進路先で役に立つと考えています。

大学での授業や研究・勉強は、将来自分の進路先で何らかの役に立つと思いますか？（学年別）

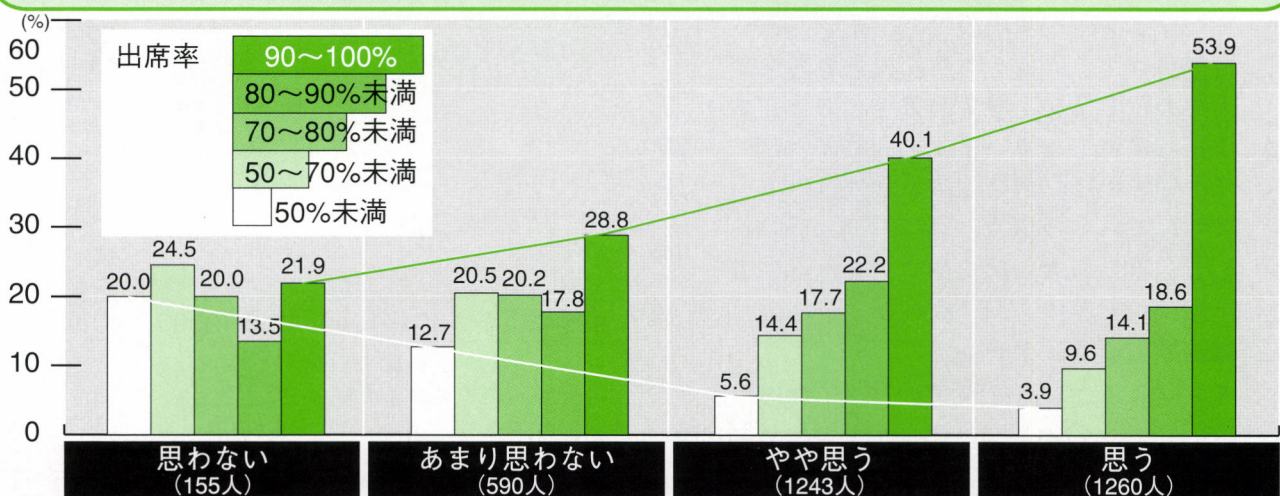


授業や研究・勉強が進路先でも役に立つと思う学生ほど授業の出席率が高く、別の集計では授業の満足度が高い傾向が見られました。進路先でも役に立つと思う学生は、将来の進路に対してある

程度明確な方向性を持ち、目的を持って授業に臨んでいると考えられます。そのことが出席率、満足度の高さに関連しているのでしょう。

あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？

／大学での授業や研究・勉強は、将来自分の進路先で何らかの役に立つと思いますか？



将来に役立つ？



留学への関心は高い！ しかし、頭を抱える「留学費用」

POINT

留学に「興味がない」 **12.0%**

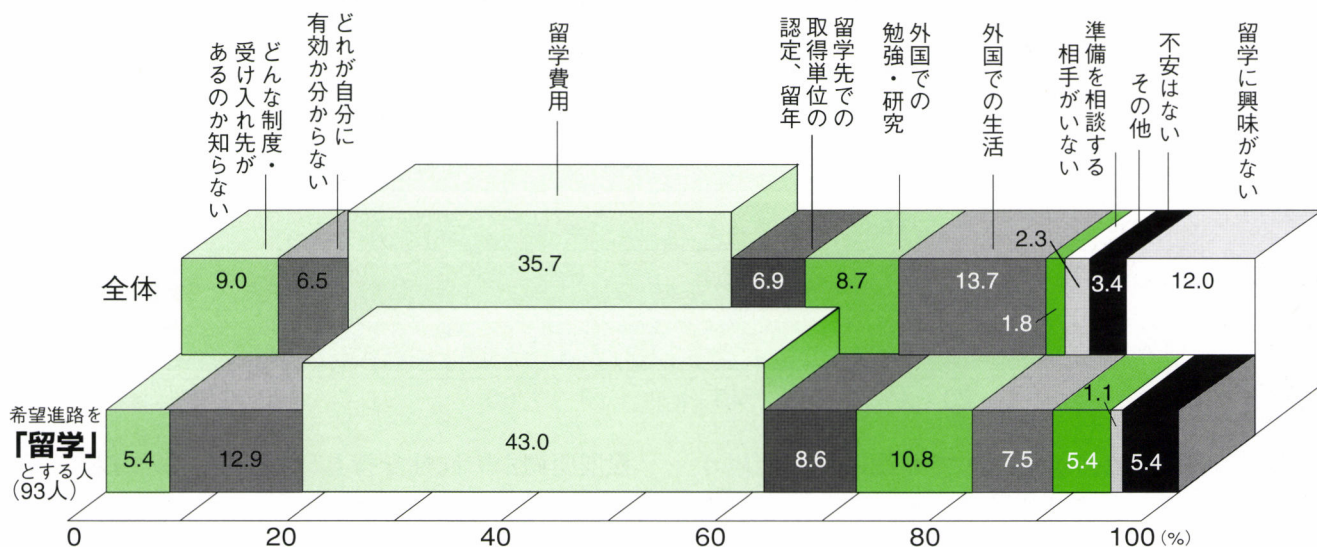
留学について不安、躊躇する要素「留学費用」 **35.7%**

留学についての質問に対し、留学に「興味がない」と回答する人は12.0%と少なく、程度の差こそあれ、多くの人が留学を視野に入れているようです。留学への不安、躊躇する要素としてはダントツに「留学費用」が挙げられています。卒業後

の進路に「留学」を希望し、留学に向けて準備している学生は、より高い値になっています。留学プログラムや協定校の増加など、昔に比べ留学への扉は開かれている現在、その資金繰りが最大のネックになっているようです。

一部抜粋

留学について、以下に挙げる点で不安になる・躊躇する要素はありますか？／
学部・研究科卒業後の進路はどうしたいと考えていますか？



コラム

本学国際教育センターでは、インフォメーションルームを設けて、本学が扱う留学プログラムはもちろん、世界各国の大学の留学情報、参考図書等、さまざまな情報提供をしています。同時に、留学についての総合的な相談を受け付けています。これらの情報、アドバイスを活用して、自分に適した留学プログラム、大学選びができるようになっていきます。

■国際教育センター

インフォメーションルーム（西早稲田キャンパス22号館3階ラウンジ内）

【URL】 <http://www.waseda.ac.jp/cie/international-j/INFO-j.html>

海外派遣学生数

